



長大成人，進到完全

(以弗所書エペソ4:13)

# 週報

2025年6月29日

(第3142期)



宗教法人：東京中華基督教會

〒166-0003東京都杉並区高円寺南5-13-4

電話：(03)3312-1837 (教會)

<http://church.ne.jp/chinese>

「你們不可停止聚會、好像那些停止慣了的人、倒要彼此勸勉、既知道那日子臨近、就更當如此。」 (希伯來書10章25節)

# 主日崇拜

讚美	第126首「晝夜讚美 / つみとがをゆるされ」	會眾
禱告		司會
朗讀	主 禱 文	會眾
證道	教会と共にあなたも豊かであるように 願你們與教會同得豐盛 Iコリント / 哥林多前書 14:6-12	講員:松蘭 一美 牧師 翻譯:リナ
讚美	第127首「數算主恩 / のぞみも消えゆくまでに」	會眾
奉獻	第127首「數算主恩 / のぞみも消えゆくまでに」	會眾
禱告		松蘭 一美 牧師
阿們	第1首「讚美真神 / あめつちこぞりて」	會眾
報告介紹		蔣 純宇, 孫 盈盈

## 【教會週間定期聚會】

主日崇拜： 每主日 10:30 - 12:00  
(Zoom ID: 995 035 0116)

聖餐式： 每月第2主日

晨禱會： 每主日 9:30 - 10:15

晚禱會： 每週二 20:00 - 20:30

小組分享： 每主日 12:30 - 14:00

日英文查經： 每週三 19:00 - 20:30  
(表參道・青山生涯學習館&LINE)

中文查經： 每週五 19:50 - 21:00  
(Zoom ID: 663 697 9476)

福音團契： 每週六 17:30 - 19:30

## 【教會本年度的目標】

常常聚會、常常讀經

いつも集會に参加し、たえず聖書を読む

## 【本月背誦聖經章節】

不但如此，就是在患難中也是歡歡喜喜的。因為知道患難生忍耐，忍耐生老練，老練生盼望；盼望不至於羞恥。因為所賜給我們的聖靈將神的愛澆灌在我們心裡。

(羅馬書5:3-5)

そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

(ローマ5:3-5)

## 【本週閱讀聖經章節】

6/30 : 路8:26-56、詩86、民21

7/1 : 路9:1-36、詩87、民22

7/2 : 路9:37-62、詩88、民23

7/3 : 路10:1-24、詩89:1-18、民24, 25

7/4 : 路10:25-42、詩89:19-52、民26

7/5 : 路11:1-28、詩90、民27, 28

7/6 : 路11:29-54、詩91、民29, 30

## 願你們與教會同得豐盛

哥林多前書14:6-12

1. 有人認為：現今、說方言的人很少吧、「那是初期教會特別的產物」。按照保羅自身的說法、說方言是「向神說話」。
2. 可是、有方言否定派認為不曉得他們在說什麼。但是、論到信仰、總是在哪裡隱藏著神秘。
3. 論到信仰、不能說「若是不合常理我總不信」。方言雖說是神秘的、但不能是無法說明、不知道裏面的意思。因為在那裡有神的理由在。
4. 第6節提到「啓示、知識、預言、教訓」。保羅清楚明白的說、自己若說方言、若不是憑藉這四點來說、就與你們毫無益處。
5. 即使可以說方言、但若不是彼此可以聽懂的話語、我認為不說的好。在教會裡還是避免為宜。
6. 12節說：「就當求多得造就教會的恩賜。」保羅教導我們：以其「當求多得造就教會」、寧說是「為與教會同得豐盛而向神求告」
7. 總結

## 教會と共にあなたも豊かであるように

Iコリント 14:6-12

1. 現代、異言を語るという人は少ないでしょう。「初代教會の時代の特別なものだ」という考えの方もいるようです。異言はパウロ自身が言うように、「神に話す」と言うことです。
2. しかし、なにを言っているか分からないと異言否定派のクリスチャンもいるのです。でも信仰とはどこか神秘的なことを秘めたものでもあるのです。
3. 信仰とは、「理屈にかなわなければ信じない。」ということでは成り立ちません。異言は神秘的ですが、説明のつかない、訳の分からないものであってはいけません。そこには神の理由があるのです。
4. 6節、「黙示、知識、預言、教え」であると言っています。パウロは、自分は異言を話すにしても、これら4つによって話さないのであれば、あなたがたには「何の益もない」とはっきり示します。
5. 異言は語るは良いにしても、互いの通じる言葉でないなら、使わない方が良いでしょう。私は考えます。教會の中ということは避けるべきでしょう。
6. 12節、「教會の徳を高めるため」と言っています。「教會だけが高められるためだけに、御霊を求めよ。」というよりは「教會とともに、あなたも豊かになるように、神に求めよ。」そう、パウロは教えています。
7. まとめ